

# 人生を謳歌する 15人のカッコイイ経営者たち



## 大手不動産会社 常務取締役 大場健夫さん

一部上場の大手不動産会社で常務取締役をされている大場さん。社内営業責任者として180名以上のスタッフの陣頭指揮を取られている、若手社員の憧れの存在です。後輩の方にお聞きすると、“口に出した事は必ず最後までやり遂げる、要求された数字以上の成果を出し続ける”これが大場さんの仕事の流儀。そんな大場さんの装いのキーワードは“責任者としての存在感、統率力、自信を感じさせ、その上で大場さんらしいスタイリッシュな雰囲気を作り上げる事”にあります。

大場さん  
からの

声

私にとって史上最強のスーツです。仕事上での立場、仕事内容を熟知して戴いた上で仕上がってくるので、着る目的がまず明確なのです。愛着は勿論、イルサルトのスーツしか纏えない程の安心感や信頼感があります！お世辞抜きです(笑)又一点のみの買い付け生地が多いので他人と被ることもなく優越感も感じます。周りの人達からも高評価を頂いて、今はビジネススーツだけではなく、ディレクターズスーツ等、自宅のワードローブはさながらイルサルト祭り状態です(笑)



## iCure テクノロジー株式会社 代表取締役 COO 浜口大介さん

“世の中の痛み苦しんでいる方々を痛みから解放する”この使命を持ち大阪、東京で雑誌やテレビで多く取り上げられる人気の整骨院を現在38院経営される浜口さん。“有言実行”と言う言葉は浜口さんの為にあるのではないかとと思うくらい、自分の未来を明確に描きどんと実現をされています。どんな言葉を並べるよりも、やり続ける背中を見せる事は育つ。浜口さんからはそんな事を学びました。浜口さんの価値を視覚化する上でのキャッチコピーは、“患者に感動を与えるプロの治療家を率いるカリスマ経営者”。この浜口さんの独自の価値を視覚化した装いです。

浜口さん  
からの

声

イルサルトのスーツを着て良かった事は“服装を通して自分らしさを表現出来る所”にあります。私自身の背景や現在の立ち位置、未来のビジョンまで詳しくヒアリングして頂き、それに対して最善の提案をして頂けるからです。そこにプラスαされる末廣さんならではのセンスも抜群です！いつも感謝しております。



## 船戸明会計事務所 船戸明さん

大阪市中央区で会計事務所を運営されている船戸さん。船戸さんを見ていてすごいと思うのは決めた事は納得出来るまで継続される事、そしていつお会いしても変わらないスタンスやぶれない軸をお持ちのところなのです。お話しされている内容、使われる言葉、そして立ち居振る舞いに一貫性のある船戸さんの装いをご提案させて頂く上でいつも気を付けているのは、やはり“信頼感、品格”です。ファッション性に走りすぎないよう船戸さんの存在感を更に引き立てる事の出来る落ち着いた雰囲気のある色と柄、これが船戸さんの価値を視覚化するキーワードです。

船戸さん  
からの

声

イルサルトのスーツは、朝袖を通した瞬間、鏡を見た瞬間に、「よし、今日も頑張ろう」と気合いが入ります。明らかに自分の言葉により自信を持てるようになりました。公的な役職につくことも多くなりましたが、きちんとしたものを着ている事を見る人は見てくれる事も分かり、どんな場所にも胸を張って出かけられるようになりましたね。



## 北摂国際特許事務所 福永正也さん

大阪府吹田市で特許出願、商標権、ライセンス支援など知的財産権に関する業務をワンストップで取り扱う特許事務所を運営されている福永さん。正確かつ確実な手続が求められるお仕事ですが、当たり前なことを当たり前にして当たり前以上の事をさりげなくやり遂げる事を大切にされています。福永さんはとにかく話が分かりやすく知的財産権の知識が無い方にも専門用語を使わずポイントを整理してお話をされるので非常に安心感を感じるのです。知的財産のプロフェッショナルとしての信頼感を備えつつ唯一無二の存在感を刻み込む、これが福永さんの装いのテーマです。

福永さん  
からの

声

一番の変化は、今まであまり考えなかった“会う人の格や目的”に合わせて着るものを選び始めたと言う所です。又天候や交通手段を加味しながら、スーツのローテーションを考えることで、日ごとの着回しに工夫が出てきました。服を変える事で出会う人の層も変わりつつは小泉元首相ともお会いすることが出来ました！



## 高校教師 溝口哲さん

私立高校で教諭をされている溝口さん。以前出場したとあるプレゼン大会の練習の際に溝口さんにもお話を聞いてもらったのですが何回も頷きながら、楽しそうにお話を聞いて下さる姿にどれだけ勇気もらったのかわかりません。人は話している時ではなく、聞いている時に本質が出るものと聞いたことがあります。真剣にお話に耳を傾ける“傾聴力”そして人に寄り添い“力を引き出す事が出来る力”が溝口さんの一番の才能なのではないかと感じます。決して自分が前に出るわけでないけれどコミュニティに欠かせない癒しの存在、そんなイメージを視覚化する為に少し優しめのグレーとグリーンを使いお仕立てをさせて頂きました。

溝口さん  
からの

声

着ていると必ず誰かに素敵ですね！と声を掛けられる。それがイルサルトのスーツです。その理由を考えると“自分の魅力を演出してくれる”という所なのです。どう見られるのか、という相手目線で自分の魅力を多面的に引き出してくれる末廣さんのヒアリングとインスピレーションが素晴らしいですね！